

旭化成売上高2兆2612億円

25年4～12月期 2期連続で最高

旭化成は4日、2025年4～12月期の連結決算を発表した。売上高は前年同期比0・1%増の2兆2612億円となり2期連続で過去最高を更新した。本業のもうけを示す営業利益は6・2%増の1739億円。経常利益は17・7%増の1796億円、純利益は22・7%増の1206億円だった。主な事業別売上高はヘルスケア領域が6・2%増の4829億円。医薬・ライ

フサイエンス事業で主力製品販売量が増加したほか、同社が株式公開買い付けにより完全連結子会社としたCalliditas（カリディタス）の新規連結効果も寄与した。

住宅領域は3%増の7924億円。国内の建設請負事業の大型化、高付加価値化による平均単価上昇や建材事業が堅調だった。

マテリアル領域は5・6%減の9663億円。エレ

クトロニクス事業は堅調に推移したもののエッセンシャルケミカル事業の在庫受払差や定期修理の影響などで減益だった。

通期の業績予想は、売上高が3兆800億円から3兆650億円に下方修正。経常利益は2170億円から2290億円、営業利益は2210億円から2250億円、純利益は1400億円から1450億円にいずれも上方修正した。

（湯田光）